

学校教育目標：夢をもち 仲間とともに 学びを深める子どもの育成



じゅんゆうっ子

～夫子循循然善誘人～

学校便り15号

令和6年1月11日

児童数308名

文責 井原 竹始

2024年(令和6年)スタート

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

このたび、石川県能登地方で発生した地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また、犠牲となられた方々に対し、深く哀悼の意を表します。一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

1月1日に、地震速報が入り、本当にびっくりしました。震度7、そして大津波警報が発令され、12年前の東日本大震災を思い出し、映像を見ていて怖くなりました。建物の崩壊や津波、火災等によりこれまで200人以上が亡くなり、安否不明者も100人以上とされています。被害状況も日が経つごとに詳しく分かってきており、その被害の大きさに驚いています。また、避難した3万人以上の人が、今避難所で生活されています。亡くなった方や、被災された方のことと、今自分にできることはないかを子どもたちと一緒に考えていきたいと思ひます。

今回の地震を受け、学校における避難訓練等の重要性も再確認しました。命を守るためにやるべきことをしっかりやっていきたいと思ひます。

今年、辰年です。詳しく言うと干支は「甲辰」です。成功という芽が成長していき、姿を整えていくという意味合いがあります。そのため、これからの成長をさらに形作っていく年でもあるので、努力すれば実りやすくなっていく年ともされています。また、力溢れるような年になりやすく、活気づくような年になるとも言われています。自分が苦手なこと、新しいことに挑戦し頑張ると、飛躍や向上が望めます。竜が天高く勢いよく上昇するように、素敵な年にしてほしいと思ひます。



学校では、3学期が始まりました。3学期は、1学期、2学期と比べて一番短い学期です。学校に来る日数は、1～5年生は51日、6年生は47日です。本当に少ないです。日数は少ないですが、3学期は、今の学年の「まとめ」と次にやってくる学年の「準備」をする大事な学期です。学校では、やるべきことを明確にし、子どもたち一人一人が、「まとめ」と「準備」をしっかり意識しながら過ごしていけるようにしていきます。ご家庭でも、この2つの観点で子どもたちの学習、生活の様子を見ていただき、声掛けをしていただくと助かります。子どもたちにとって、充実した3学期、素敵な1年になるように、学校と家庭が手を取りながらやっていきましょう。

引き続き感染症対策にご協力を

11～12月は、佐賀県内でインフルエンザが流行り、本校でもインフルエンザ等で休む児童がかなりいました。3学期のスタートは、インフルエンザ等の感染症での休みはほとんど見られませんが、これから寒くなってくると、また流行ってくるのが考えられます。インフルエンザは感染力が強く、学級や家庭であつという間に広がります。引き続き感染症対策にご協力をお願いします。

- うがい、手洗い、手指の消毒をこまめにする
- 定期的に窓を開け、換気をする
- 場や体調に応じてマスクを着用する
- 適度な運動をして体力をつける
- 発熱や風邪症状がある時は、早目に病院を受診する
- バランスの取れた食事を朝、昼、夜きちんととる
- 早寝早起きをして規則正しい生活をする

いじめ0のやくそく レインボー作戦

学期初めに、循誘小の全員が、気持ちよく楽しく生活できるようにしようということで、いじめ0のやくそくを全校で確認しています。今回も名人委員の皆さんの後に続いて復唱し、確認しました。3学期は1年の最後の学期です。楽しい思い出っぱいの1年だったと思えるよう、みんなで仲良く協力して楽しい3学期にしてほしいと思います。

【いじめ0のやくそく】

- 1 友だちを大切にし、いやがることをしません
- 2 いじめを見たら、「だめだよ」と言います
- 3 いじめを見たら、先生や周りの人に知らせます
- 4 困ったときは、家族や先生に相談します
- 5 友達を誘い、一人ぼっちをつくりません
- 6 友だちを元気にするほかほかことばを増やします
- 7 誰とでも仲よくし、笑顔あふれるクラスにします

大人が「ほかほか言葉」の手本を

言われて嬉しい言葉、心がほかほかしてくる言葉がありますよね。わざわざ言葉にしなくても問題はないのですが、言葉にして伝えることで相手の心を元気にしてくれる魔法の言葉です。

循誘小学校でも、循誘っ子しぐさの一つに「増やそう ほかほか言葉」をあげ、取り組んでいます。「ほかほか言葉」を言われると、大人でも子どもでも、たちまち嬉しくなり、一日がハッピーに過ごせそうな気分になります。「やる気」を出したり、「自信」を付けたりして、物事がプラスに働きます。そんな不思議な力がある言葉を、子どもにどんどん使ってほしいと思っています。その手本となるように、学校や家庭で大人が積極的に使っていきましょう。

【励ましの言葉】

・がんばれ ・大丈夫 ・気にしないで ・ドンマイ ・協力するよ ・きっとできるよ

【感謝の言葉】

・ありがとう ・とても助かったよ ・あなたのおかげ ・あなたがいて助かったよ
・感動したよ

【挨拶】

・おはようございます ・こんにちは ・こんばんは ・さようなら ・ってきます
・ただいま ・おかえりなさい ・おやすみなさい ・元気ですか ・暑いですね

【認める言葉】

・すごい ・かっこいい ・優しいね ・素敵 ・素晴らしい ・上手になったね
・ここまでできたんだ ・工夫したんだね ・そのままがいいよ ・見習いたいな

【共感の言葉】

・わかるよ ・へえ、そうなんだ ・わたしもそう思うな ・ナイスアイデア
・いいところに気が付いたね ・もっと話を聞かせて ・一緒にやってみたいな

「ほかほか言葉」は、子どもの心を元気にします。そのため、積極的に言葉にして子どもに伝えていきましょう。より子どもの心に伝わるようにするために、次のような姿勢も大切だと思います。

- 1 子どもの方を見ながら話に耳を傾ける
- 2 話を遮らず相づちを打って共感する
- 3 子どもの話を否定せず、話を聞いたうえで意見を言う。

「ほかほか言葉」は、言う方も言われる方も元気になると思います。家庭が、学校が「ほかほか言葉」であふれ、笑顔いっぱいになるようにしていきましょう。